

サクラ・スプリング・フェスティバル2024で友情の花咲く *Blooming friendships at Sakura Spring Festival 2024*

April 8, 2024

By Staff Sgt. Tristan Truesdell
374th Airlift Wing Public Affairs

横田基地は、4月6日に開催した「サクラ・スプリング・フェスティバル2024」で基地の一部を地元のコミュニティーに開放し、友情と桜の開花を祝った。

この「サクラ・スプリング・フェスティバル」は、基地の住民と地元のコミュニティーとの長年にわたる親密な絆を祝うことに重点をおいた日米交流行事である。

第374空輸航空団司令官アンドリュー・ラダン大佐は、「今日は基地の住民と従業員にとって、地元の皆さまとのパートナーシップを祝う日です。この日を機会に、皆さまに感謝の気持ちを示したいと思います。日本で任務を遂行し、日本を支援し、日本との同盟を支えることができるのは、皆さまのご理解とご協力のおかげです」と挨拶した。

横田基地内外のコミュニティーにとって今や定着した行事となっている「サクラ・スプリング・フェスティバル」は、美しい桜を愛でるために集い、盛大な催しを通じて交流を図り、伝統を分かち合う特別な機会となっている。

フェスティバル会場では、世界各国の屋台料理の販売、米空軍太平洋音楽隊や日本人アーティストによる生演奏、基地のエンターテイナーや日本人アーティストのパフォーマンス、ファーマーズ・マーケットなどの催しが行われた。

航空自衛隊横田基地作戦システム運用隊司令の石井浩之1等空佐は、「このイベントは米空軍が毎年横田基地で開催しているもので、地元の人々との絆と相互理解を深める絶好の機会だと考えています。先週から桜が開花し始め、幸いにも今日は満開の桜の中での開催となりました」と語った。

「サクラ・スプリング・フェスティバル」は、横田基地が毎年開催している2大開行事の一つで、毎年何千人もの来場者を迎えている。もう一方の「友好祭」は、今年の5月18日と19日に開催が予定されている。

